

保育所における自己評価

【八幡おひさまの森保育園】

A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

項目	内容	評価				意見
		A	B	C	D	
・園の保育理念・保育方針について	園の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している		○			会議を通して理念のすり合わせを行い、課題や目標を明確にした。
保育について	一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した保育計画となっている	○				学校薬剤師指導の下、衛生管理に一層努め、管理を徹底させた。また、日々、子どもの共有を徹底し共通理解を図り援助の向上に努めた。
	年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している		○			
	評価、資料(諸記録)を集積している		○			
	園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している		○			
	気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	○				
	地域の特色や季節に触れる活動を設定し、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている		○			
	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています		○			
	それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している		○			
	保育についての話し合いをよくしている		○			
	それぞれの役割を把握し、チーム保育として適切な動きができています		○			
健康管理について	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	○				最新の情報の共有を徹底して行い、じょうきょうの変化に敏感に対応できる等体制作りに努めた。
	玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している		○			
	乳幼児突然死症候群(SIDS)や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	○				
	園や地域の感染症の状況について、保護者に情報提供し、協力を仰ぎ、感染拡大防止に努めている		○			
行事について	行事の種類や実施回数は適切である		○			園や地域の状況を見ながら開催方法の見直しを行った。また、今後についても行事の在り方について考える機会を設けた。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている			○		
	新型コロナウイルス感染症対策を考えた上で、適切な運営を検討している		○			

項目	内容	評価				意見
		A	B	C	D	
食育について	食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	○				調理担当者と保育者が子どもの様子を共有する機会を多く持ち多角的に意欲が育つきっかけを見出せるように努めた。
	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている		○			
	調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	○				
運営について	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある		○			各種会議を多く持ち、状況の把握に努めた。
	各種会議を適切かつ効率的に進めている		○			
	打合せ回数、時間、内容は適切である		○			
保健・安全指導について	年齢別・クラス運営に生かされるような安全チェックマニュアルの整備など対策を講じている		○			環境の変化に気付けるように一緒に考えたり示していきながら意識の向上に努めた。
	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		○			
	事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	○				
	廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している		○			
	室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている		○			
研修・研究について	発達に合わせた毎月の課題を明確にし、日常の保育の向上に生かしている		○			会議では、クラスの状況をすり合わせ、考える機会を持ち、より良い保育の提供ができるように努めた。
	部内・部外研修への参加態勢を充実を図っている		○			
	研修報告を園内で実施している			○		
情報について	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	○				個人情報の取扱いについて、定期的に学ぶ機会を持ち個々の意識の向上に努めた。
	個人情報にの取り扱いについて研修を行い、園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	○				
	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	○				
設備について	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている		○			クラスの環境に合わせて安全点検を見直し、友好的に取り入れた。
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している		○			
保護者支援について	子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている		○			伝える内容の目的を明確にし、育ちの見通しが持てるよう努めた。
	クラス懇談や個別懇談を行っている		○			
	入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		○			
	園だよりや行事などを通し、園での様子を伝える機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている		○			

項目	内容	評価				意見
		A	B	C	D	
開かれた保育所づくりについて	園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している		○			迎え入れる姿勢に対しての意識を職員間でそろえたり、個々の意識向上に努めた。
	職員による育児に係る「子育て相談」は充実している		○			
	医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		○			
	中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している		○			
	来客や地域の方に明るく挨拶をしている	○				
情報発信について	園だより、ホームページ等で、情報発信に努めている			○		地域への情報発信について一部課題は残った。
	地域の小学校や専門施設と連携をとり、地域で子どもを育む努力をしている		○			

【次年度改善点】

- 地域への情報発信の改善に努める。
- 行事を見直し、行事そのものの在り方についても話し合い向上に努める。
- 学びの機会を充実させて、保育の質向上に努める。

平素より、園へのご理解とご協力を誠にありがとうございます。

昨年度に引き続きコロナウイルス感染症の拡大防止を行いながらの園運営となりました。

保護者の皆様には多くのご理解とご協力をいただき、心より感謝いたしております。

虐待や事故、感染症などご心配をおかけする話題が多くありましたが、安心して

お子さまを預けていただけるよう、努めて参ります。

今後ともよろしくお願いいたします。

令和5年3月31日

園長 笠原陽子